

夏休み親子歴史教室

つくって学ぶ、さわって感じる

和紙文化と 向日庵

参加者
募集!



にしむこう じゅがくてい とうじつあん
西向日 寿岳邸「向日庵」

向日市内の西向日住宅地には、^{じゅがくぶんしょう}寿岳文章という学者の家だった「向日庵」という建物があります。英文学者であった寿岳先生は和紙の研究者でもあり、この家を拠点として活動していました。今回の歴史教室では、向日庵や寿岳先生、和紙について学び、^{かみす}紙漉きを体験して、自分で漉いた和紙でうちわを作ります。

日時 令和5年 7月27日(木)・28日(金) 午後1時30分～3時00分
(2023)

対象・定員

- 向日市在住・在学の小学4年生～6年生とその保護者 16人
※児童1人につき保護者は1人まで（保護者の方が参加できない場合は、児童のみでも参加可能です。）
- 7月27・28日の2日間、同じ時間に参加できる方（1日完結ではなく、2日間連続の教室です。）

内容・指導

- 1日目（7月27日） 和紙の原料となる楮の皮むきや、紙漉きを体験します。
- 2日目（7月28日） 自分で漉いた和紙を竹の骨に貼って、うちわを作ります。

◆講師：^{たむら ただし}田村 正 さん（京都工芸繊維大学非常勤講師、紙漉き師、NPO 法人向日庵理事）

会場

向日市文化資料館 2階研修室

参加費

300円（材料代、保険料）

持ちもの

筆記用具、マスク、水を入れて凍らせたペットボトル
(350～500ml) ※1日目のみ



お申込み

文化資料館へ直接、または電話(075-931-1182)にてお申し込みください。7月26日(水)までに参加費をお支払いください。

※参加費の受領をもって正式受付とします。

※定員になり次第、締め切ります。



7月1日(土)午前10時から受付開始